

従業員一丸となり最新工場で 安心安全の袋づくり

企画力
自信有
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン



動物の形をした変形袋など

業務内容 技術力を強みに さまざまな袋を生産

食品やペットフード、医薬品、化粧品などを包装する袋を製造する専門メーカー。1枚のフィルムを背と底で貼り合わせた合掌袋などの標準的な袋から、保存に便利なチャック付きや内容物の重さによって自立するタイプの袋まで幅広く手がける。

創業時から合掌袋の側面にマチを付けた合掌ガゼット袋を得意としており、50年以上培ってきた技術力には定評がある。現在も、的確な折り目を付ける技術などが要求される一口ようかん用袋の生産を一手に引き受けるなど、「小さく複雑な袋を生産するノウハウはどこにも負けない」と尾關博昭社長は胸を張る。

強み 信頼度No.1目指し 衛生管理を徹底

高品質と衛生度を強化するため、平成29年3月に新本社工場を稼働。前工場でも当時、製袋業界では珍しかったエアシャワーをいち早く取り入れるなど衛生管理に力を入れてきたが、新工場では製造現場全体をクリーンルーム化し、医薬品の錠剤梱包レベルと同等の清浄度まで引き上げた。食品安全マネジメントシステムに関する国際規格FSSC22000認証取得のため、社内準備も始めている。操業中は30分に1度、製品に不具合がないかどうかチェックするなど、品質管理体制も徹底。尾關社長が目標に掲げる「信頼度ナンバーワン会社」に向け、着実に前進を続ける。

人材教育 従業員主導で勉強会開き ノウハウを共有

近年は、積極的に若い人材を採用し、組織としての若返りも進めている。生産技術や品質管理などをテーマに、従業員が企画運営する



製造現場の様子



従業員が企画・運営する勉強会

勉強会を定期的に開き若い世代にノウハウを伝えるなど、従業員同士で意識向上を図る取り組みも行っている。また、採用活動には従業員全員がかかわり、在籍年数や経験にに応じて会社説明役やリクルーター、面接官などを務める。尾關悦子総務部長は「従業員の意見も取り入れ、自分たちが一緒に働きたいかどうかを基準に選考する。職場全体で新人を育てていくという一体感も生まれる」と話す。時代の変化に対応し、女性や若手が働きやすい環境づくりにも取り組んでいる。

今後の展望 営業を置かず品質で勝負 新製品づくりに注力

創業以来、専任の営業部隊を置かず品質や顧客対応で信頼を獲得し、新たな受注や顧客開拓につなげるというスタイルで業績を伸ばしてきた。新本社工場には、顧客に工場運営の様子や設備の充実ぶりを見てもらうための見学者用通路を設け、最上階にはシンボルツリーとして樹齢250年のオリーブを植樹した。設備面では、定番の長方形だけではなく、袋の周囲を曲線で型抜きできる生産ラインを導入し、新たな製品づくりに取り組んでいる。尾關社長は「従業員の力を結集し、オリーブが上空に枝を伸ばすように大きく成長したい」と語り、今後も同社ならではの袋づくりに力を入れていく。

当社の歴史



昭和40年に父の尾關廣美が袋製造を始めたのが会社の始まりです。以来、技術を強みとする袋づくりの伝統を守りながら、「安心安全」という新しい価値も提供してきました。「袋づくり」と「会社づくり」の2つを軸として、今後も大宝ブランドを育てていきます。

代表取締役 **尾關 博昭さん**

<http://www.taihouseitai.co.jp/>

主な事業内容

食品、化粧品、
医薬品用袋の製造

主な取引先(納入先)

包装資材メーカー、
包装系商社

住所

〒547-0001
大阪市平野区
加美北1-22-27

TEL 06-6796-2968
FAX 06-6796-2978
創業 昭和40年3月
設立 昭和56年12月
資本金 1,000万円
従業員 39名